



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 東京産業株式会社

コード番号 8070 URL <http://www.tscom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 利夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 須藤 隆志

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日

TEL 03-5203-7841

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	47,275	△17.2	627	△51.2	754	△47.8	526	△40.8
28年3月期第2四半期	57,067	49.8	1,284	132.4	1,445	87.5	889	103.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	19.62	—
28年3月期第2四半期	33.13	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	41,137		20,770		20,770	50.5
28年3月期	45,930		20,385		20,385	44.4

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 20,770百万円 28年3月期 20,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
29年3月期	—	7.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	△14.4	1,700	△17.8	2,000	△12.2	1,300	△14.4	48.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	28,678,486 株	28年3月期	28,678,486 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,827,344 株	28年3月期	1,827,269 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	26,851,195 株	28年3月期2Q	26,851,910 株

(注)当社は、株式付与ESOP信託及び役員報酬BIP信託を導入しており、各信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策により、緩やかな景気回復基調で推移しているものの、円高の進行により企業業績の改善が鈍化し、また、海外においては、中国をはじめとする新興国や資源国の景気減速、英国の欧州連合（EU）からの離脱決定等、依然として先行き不透明な状況となっております。

このようななか、当社の当第2四半期累計期間の成約高は、前年同四半期に比べ78億50百万円減少の454億66百万円（前年同四半期比14.7%減）となりました。

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、前年同四半期に比べ97億92百万円減少の472億75百万円（前年同四半期比17.2%減）となりました。

売上総利益は30億6百万円（前年同四半期比4億72百万円減、13.6%減）、営業利益6億27百万円（前年同四半期比6億57百万円減、51.2%減）、経常利益7億54百万円（前年同四半期比6億90百万円減、47.8%減）、四半期純利益5億26百万円（前年同四半期比3億62百万円減、40.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

受注及び販売の状況
第2四半期累計期間

(単位:百万円)

セグメント別	成 約 高			売 上 高			成 約 残 高		
	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額
電 力 関連部門	25,558 (25,991)	56.2 (48.8)	△432	25,734 (30,446)	54.4 (53.3)	△4,711	37,379 (40,057)	55.2 (59.5)	△2,678
化学機械 関連部門	9,412 (9,863)	20.7 (18.5)	△450	8,085 (9,679)	17.1 (17.0)	△1,593	19,425 (16,558)	28.7 (24.6)	2,867
電子精機 関連部門	5,660 (12,488)	12.4 (23.4)	△6,827	7,561 (11,972)	16.0 (21.0)	△4,411	1,608 (3,500)	2.4 (5.2)	△1,891
環 境 関連部門	4,765 (4,906)	10.5 (9.2)	△140	5,824 (4,901)	12.3 (8.6)	922	9,263 (7,204)	13.7 (10.7)	2,058
その他	69 (67)	0.2 (0.1)	1	69 (67)	0.2 (0.1)	1	— (—)	— (—)	—
合計	45,466 (53,317)	100 (100)	△7,850	47,275 (57,067)	100 (100)	△9,792	67,676 (67,320)	100 (100)	356

(電力関連部門)

売上高は257億34百万円と前年同四半期に比べ47億11百万円の減少となっております。また、成約高は255億58百万円（前年同四半期比4億32百万円減）、成約残高は373億79百万円（前年同四半期比26億78百万円減）となりました。

(化学機械関連部門)

売上高は80億85百万円と前年同四半期に比べ15億93百万円の減少となっております。また、成約高は94億12百万円（前年同四半期比4億50百万円減）、成約残高は194億25百万円（前年同四半期比28億67百万円増）となりました。

(電子精機関連部門)

売上高は75億61百万円と前年同四半期に比べ44億11百万円の減少となっております。また、成約高は56億60百万円（前年同四半期比68億27百万円減）、成約残高は16億8百万円（前年同四半期比18億91百万円減）となりました。

(環境関連部門)

売上高は58億24百万円と前年同四半期に比べ9億22百万円の増加となっております。また、成約高は47億65百万円（前年同四半期比1億40百万円減）、成約残高は92億63百万円（前年同四半期比20億58百万円増）となりました。

(その他)

売上高は69百万円と前年同四半期に比べ1百万円の増加となっております。また、成約高は69百万円（前年同四半期比1百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産の部

当第2四半期会計期間末における総資産は、411億37百万円となり、前事業年度末と比較して47億93百万円の減少となりました。主な要因として、売上債権や有価証券、商品の減少等により流動資産が62億22百万円減少したことによるものであります。

(ロ) 負債の部

当第2四半期会計期間末における負債合計は203億66百万円となり、前事業年度末と比較して51億78百万円の減少となりました。この主な要因は、仕入債務の減少等により流動負債が52億64百万円減少したことによるものであります。

(ハ) 純資産の部

当第2四半期会計期間末における純資産合計は207億70百万円となり、前事業年度末と比較して3億84百万円の増加となりました。この結果自己資本比率は50.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前年同四半期末に比べ4億70百万円減少し、55億52百万円となりました。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は2億90百万円となりました。主な資金の増加要因としては、売上債権の減少額38億34百万円、商品の減少額10億11百万円であり、主な資金の減少要因としては、仕入債務の減少額48億17百万円、法人税等の支払額4億30百万円であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は6億25百万円となりました。収入の主な内訳は、有価証券の売却及び償還による収入12億円、投資有価証券の売却及び償還による収入1億98百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出9億54百万円、投資有価証券の取得による支出5億3百万円であります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は2億76百万円であります。これは主に配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表致しました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,569	5,442
受取手形及び売掛金	24,410	20,576
有価証券	3,099	1,899
商品	1,215	204
前渡金	241	231
その他	446	407
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	34,970	28,747
固定資産		
有形固定資産	3,474	4,263
無形固定資産	218	211
投資その他の資産		
投資有価証券	4,790	5,289
その他	2,485	2,634
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	7,267	7,915
固定資産合計	10,960	12,389
資産合計	45,930	41,137
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,149	8,072
受託販売未払金	11,228	7,508
短期借入金	1,570	1,565
未払法人税等	441	191
前受金	467	392
引当金	359	319
その他	667	568
流動負債合計	23,882	18,617
固定負債		
引当金	110	108
その他	1,551	1,640
固定負債合計	1,661	1,748
負債合計	25,544	20,366

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	2,821	2,821
利益剰余金	13,885	14,190
自己株式	△705	△705
株主資本合計	19,445	19,750
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	965	1,088
繰延ヘッジ損益	△61	△104
土地再評価差額金	36	36
評価・換算差額等合計	940	1,020
純資産合計	20,385	20,770
負債純資産合計	45,930	41,137

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	57,067	47,275
売上原価	53,588	44,268
売上総利益	3,479	3,006
割賦販売未実現利益戻入額	1	2
差引売上総利益	3,481	3,009
販売費及び一般管理費	2,196	2,382
営業利益	1,284	627
営業外収益		
受取利息	12	8
受取配当金	143	126
その他	46	36
営業外収益合計	201	171
営業外費用		
支払利息	9	24
為替差損	28	18
その他	3	1
営業外費用合計	41	44
経常利益	1,445	754
特別利益		
固定資産売却益	5	-
投資有価証券売却益	0	18
その他	0	-
特別利益合計	6	18
特別損失		
固定資産処分損	0	1
関係会社株式評価損	61	-
ゴルフ会員権評価損	8	-
その他	1	0
特別損失合計	71	2
税引前四半期純利益	1,380	770
法人税、住民税及び事業税	431	191
法人税等調整額	59	51
法人税等合計	490	243
四半期純利益	889	526

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,380	770
減価償却費	157	179
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△18
関係会社株式評価損	61	-
有形固定資産売却損益(△は益)	△5	-
有形固定資産処分損益(△は益)	△0	1
ゴルフ会員権評価損	8	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△33	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	19	10
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40	△50
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2	-
受取利息及び受取配当金	△156	△135
支払利息	9	24
売上債権の増減額(△は増加)	△3,387	3,834
たな卸資産の増減額(△は増加)	△612	1,011
前渡金の増減額(△は増加)	△34	10
前払年金費用の増減額(△は増加)	△173	△131
リース投資資産の増減額(△は増加)	0	0
仕入債務の増減額(△は減少)	1,244	△4,817
前受金の増減額(△は減少)	△922	△74
未払又は未収消費税等の増減額	△198	7
その他	△5	△12
小計	△2,690	612
利息及び配当金の受取額	156	133
利息の支払額	△9	△24
法人税等の支払額	△242	△430
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,786	290
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△700	△500
有価証券の売却及び償還による収入	600	1,200
有形固定資産の取得による支出	△352	△954
有形固定資産の売却による収入	24	11
無形固定資産の取得による支出	△1	△40
関係会社株式の取得による支出	-	△20
投資有価証券の取得による支出	△100	△503
投資有価証券の売却及び償還による収入	2	198
関係会社貸付けによる支出	-	△16
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	0	0
信託受益権の償還による収入	500	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25	△625

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	860	860
短期借入金の返済による支出	△860	△860
長期借入金の返済による支出	△5	△5
リース債務の返済による支出	△34	△49
自己株式の取得による支出	△134	△0
自己株式の処分による収入	133	-
配当金の支払額	△219	△221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△259	△276
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,109	△627
現金及び現金同等物の期首残高	9,132	6,179
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,022	5,552

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力 関連部門	化学機械 関連部門	電子精機 関連部門	環境 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,446	9,679	11,972	4,901	56,999	67	57,067
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	30,446	9,679	11,972	4,901	56,999	67	57,067
セグメント利益	305	177	757	17	1,257	27	1,284

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸部門であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,257
「その他」の区分の利益	27
四半期損益計算書の営業利益	1,284

II 当第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力 関連部門	化学機械 関連部門	電子精機 関連部門	環境 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	25,734	8,085	7,561	5,824	47,205	69	47,275
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	25,734	8,085	7,561	5,824	47,205	69	47,275
セグメント利益	387	55	138	8	590	37	627

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸部門であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	590
「その他」の区分の利益	37
四半期損益計算書の営業利益	627